

和光市総合振興計画審議会第1回会議（安心部会） 会議要旨

開催日：平成27年4月20日（月） 午前9時30分～11時15分

開催場所：和光市役所議事堂3階全員協議会室

出席者：荒木保敏部会長、森田圭子委員、野宗玲子委員、花輪宗命会長、宍戸博委員、
松永靖恵委員、板垣隆夫委員

欠席者：鷹咲子委員、山田智好委員、深野威委員

事務局：川辺課長、前島課長補佐、工藤主査、遠藤主事

傍聴者：0名

次第：1 開会

2 議事

(1) 施策内容修正シートに関する審議

- 施策14 確かな学力の育成を目指した教育の推進
- 施策15 地域と連携した教育の推進
- 施策17 放課後児童の居場所づくりの推進
- 施策19 安全な学校教育環境の整備
- 施策20 小中学校の配置・規模の適正化の推進
- 施策23 充実した生涯学習機会の提供
- 施策24 青少年の育成に適した環境づくりの支援
- 施策26 創造的な文化の振興
- 施策27 スポーツ・レクリエーションの環境の整備
- 施策28 スポーツ・レクリエーションの活動の推進
- 施策29 人権啓発・教育及び平和の推進
- 施策30 男女共同参画社会の実現
- 施策31 国際化の推進
- 施策46 国民健康保険の適正な運営
- 施策47 国民年金の普及
- 施策50 コミュニティづくりの推進
- 施策66 協働型社会の構築

3 その他

次回開催の日程

4 閉会

1 開会

政策課長挨拶

2 議事

(1) 施策内容修正シートに関する審議

施策14 確かな学力の育成を目指した教育の推進

[6. 取組内容②個に応じた指導の充実]

花輪会長 : 取組を達成するためには、指標としている学習教室参加人数を増やせばいいということではないと思う。この施策内容修正シートからは中身が見えてこない。具体的に表現できる方法があればいいのだが。

荒木部会長 : 指標として学習教室参加人数が不要ということか。

花輪会長 : 指標が不要ということではなく、「個に応じた指導の充実」を推進するために、少人数学級推進教員や学力向上支援教員を活用してどのような指導をするのかという内容を明確にする工夫が必要と考える。

野宗委員 : 内容を具体的に書き込むと分かりやすい。

荒木部会長 : 部会の意見としては、取組内容もしくは備考欄に入れるという意見ということか。

花輪会長 : そのとおり。

事務局 : 本計画は長期計画なので細かく書きすぎると縛られすぎるという側面もある。

森田委員 : 部会の意見としては、何か具体的な内容を明記してほしいとすればいいのではないか。

[部会の意見]

少人数学級の推進や学力向上のためにどのような取組をするのか、より具体的に記載する。

[7. 施策指標]

ア

荒木部会長 : 現状値が平成25年度の値となっているが、平成26年度の値とすべきではないのか。

事務局 : 現状報告できる数値が平成25年度の値であるが、今後平成26年度の数値に変更する。

[部会の意見]

現状が平成25年度の数値となっているが、最新値である平成26年度の数値を記載する。

イ

板垣委員 : 備考欄について、市独自の研修会から教員研修会の表記に変わった。事前質問の回答によると修正前の同一の指標であるとのことだが、数値が1桁近く違

うのはなぜか。

宍戸委員 : 修正前の2桁の数字は市の独自研修会、3桁の数字は教育研修会で、教員研修会は市の独自研修会以外も含めているから多いのではないか。

事務局 : 再確認する。

[部会の意見(確認)]

「市独自の研修会」から「教員研修会」の変更に伴い、数値が1桁近く変更になっている。事前質問の回答は「内容的には同一の指標である」ということだが、教員研修会には市独自の研修会以外も含めているのではないか。

施策15 地域と連携した教育の推進

[3-2. 平成27年度の現状]

花輪会長 : 学校応援団の報酬はどのようになっているのか。善意に頼った無報酬で、人を増やす策はあるのか疑問である。

松永委員 : 応援団の主は保護者なので報酬は出ないが、保険には入っていただいている。

森田委員 : 取組を始めてから10年経っていないが、当初保護者であった協力者が子どもの卒業後にも地域の協力者として、例えばコーディネーターという形でフォローしてくださるといふ動きが出てきている。そのため、人数はこれからも増えていく見通しである。

野宗委員 : コーディネーターが協力者を増やすことの鍵となるため、その記載があると良い。

[部会の意見]

学校応援団への協力者数を増やすためにコーディネーターが重要な役割を果たしている事を追記する。

施策17 放課後児童の居場所づくりの推進

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策19 安全な学校教育環境の整備

[7. 施策指標]

ア

宍戸委員 : 「通学区域内における交通事故件数」の0件目標は分かるが、施策に適切か。達成しているのであるならば、立哨しているボランティアの人数を把握をするとか、充実していく予定であるなら、その数値を入れるべきではないのか。

荒木部会長 : 立証指導員の人数は把握していると思われるし、交通事故件数0件の目標は

適当ではないか。

野宗委員 : 数件の事故があつて、それを0件にしたいというのであれば構わないが、この件はすでに0件であるため、指標として適当ではないと思う。

森田委員 : 目標を達成している・していないではなく、事故の予防のため、アウトカムの指標として表記しておくのは重要である。

荒木部会長 : 予防的な役割もあるということで、指標として継続することとする。

[部会の意見]

変更なしで可決。

イ

宍戸委員 : 「6. 取組内容③」にもあるように、事故以外の事件も多くなっているため、防犯対策や安全対策実施数などを指標にいれてはどうか。

荒木部会長 : 防犯対策内容が薄いため、追加を依頼する。

[部会の意見]

防犯対策の強化に対応する指標（防犯対策や安全対策実施数など）を追加する。

施策20 小中学校の配置・規模の適正化の推進

[7. 施策指標]

花輪会長 : 指標の見直しにより、市全体の数値が見えなくなっている。

事務局 : 備考欄に平均値を追記するという対応でどうか。

荒木部会長 : 平均値の記載を依頼する。

[部会の意見]

備考欄に1校当たりの児童数（生徒数）の平均値を追加する。

施策23 充実した生涯学習機会の提供

[事前質問・回答]

ア 生涯学習振興計画について

板垣委員 : 回答によると生涯学習振興計画の計画期間満了後は、各年度の「和光市教育行政の基本目標と重点施策」に基づいて業務を行うとあるが、単年度ではなく年間を通した計画であったほうが理想である。

イ 自主クラブ化数の削除について

板垣委員 : 自主クラブ化した数は意味のあるものだったと思うので、残した方がいいのでは。

荒木部会長 : 同じく、10年計画の中において途中で削除するのは適当ではないと思う。他の委員の皆様はいかがか。

野宗委員 : 自主クラブ化した数は残し、参加人数の数値目標は追加とすべき。

[部会の意見]

削除せず、継続して施策指標として掲げる。

[6. 取組内容②生涯学習などに関する情報提供]

花輪会長 : 和光は若い人が多い。メールマガジンがどれだけ閲覧・活用されているのかについて、把握はできるのか。

事務局 : メールマガジンの配信数は把握できるが、中身を読んでいるかどうかまでは分からない。

野宗委員 : 各事業の中で目標を設定するのが適当である。

荒木部会長 : メールマガジンの登録者数を増加するという目標は各事業の中で行うこととする。

[部会の意見]

メールマガジン登録者数の目標管理を各事業の中で行う。

施策24 青少年の育成に適した環境づくりの支援

[4. 課題]

板垣委員 : 事前質問に対する回答の意味は分かるが、施策内容修正シートの表現が分かりにくいので工夫してほしい。

森田委員 : 課題は書き直しが必要である。

松永委員 : 「片親家庭」という表現は適切ではないので、ひとり親家庭、母子家庭、父子家庭等の適切な表現とする。

[部会の意見] 事前質問のとおり、「現状にあった支援」の詳細を追記する。その際、片親家庭という表現ではなく、ひとり親家庭、母子家庭、父子家庭等の適切な表現とする。

施策26 創造的な文化の振興

[7. 施策指標]

事務局 : 市民文化センターの稼働率は、平成26年度60%である。

荒木部会長 : 文化に対する市民満足度はどうか。

事務局 : これから調査するので後で記載する。

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策27 スポーツ・レクリエーションの環境の整備

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策28 スポーツ・レクリエーションの活動の推進

[7. 施策指標]

野宗委員 : 「個人開放事業」とは何なのか分からない。

事務局 : 内容を確認し、備考欄に説明を追記する。

[部会の意見]

備考欄に事業内容を記載する。

施策 29 人権啓発・教育及び平和の推進

[事前質問・回答 / 4. 課題]

板垣委員 : 学校やインターネットでのいじめなどの新たな人権問題への対応は重要なことである。現状に書いてあるから課題に明示しなくてもいいのではなく、何らかの形で両方記載すべきである。人権等については、今後更に重要になるのではないか。

事務局 : 本施策は学校教育の中のいじめという部分に特化しているものではない。指摘の「3. 現状」の「いじめなどの人権問題」に含んでいる。学校教育という施策の中ならば、その点を追記する必要があると思うが、大きいカテゴリになるので、不要ではないかと思われる。

森田委員 : 学校やインターネットのいじめについては、施策 24 で重点的に書かれている。施策 29 は平和や人権の部分に重点を当てている。

野宗委員 : 学校のいじめとは違う定義の人権侵害もある。

[部会の意見]

変更なし。

[3-2. 平成 27 年度の現状]

野宗委員 : 27 年の現状が空欄なのはなぜか。

事務局 : 「3. 現状」から変更がないということである。中間見直し実施要領で変更する場合は、「3-2. 平成 27 年度の現状」に記載するようとしている。

野宗委員 : 社会情勢が大きく変わっている現在で、去年と変化が全くないという認識はどうかと思う。

森田委員 : インターネットなどの新しいものもあるので、もう少し細かくてもいいのではないか。

[部会の意見]

現状については、インターネットによる人権被害など新しいものを記載する。

施策 30 男女共同参画社会の実現

[事前質問・回答 / 7. 施策指標]

板垣委員 : 事前質問の回答のとおり、セミナー開催数を追加する。

[部会の意見]

セミナー開催数を追加する。

[3-2. 平成27年度の現状]

事務局 : 「3. 現状」で変更した値は「3-2. 平成27年度の現状」に移し、修正した「3. 現状」は以前の状態に戻す。

[3. 現状]

花輪会長 : 「4. 課題」で「ドメスティックバイオレンス、セクシャルハラスメント及び児童虐待については、被害者が多く存在する」と認識されているに、「3. 現状」では「身体的暴力、精神的暴力、性的暴力を暴力として認識していない人も多くいます。」とある。これは常に多いのか、それとも最近増えているのか。現状に書いた方が、分かりやすいのではないか。

荒木部会長 : その点は「3-2. 平成27年度の現状」に書かれるべきである。

花輪会長 : 現状として書いた方が課題として捉えやすいと思う。

[部会の意見]

DV、セクハラ、児童虐待についての現状を記載する。

施策31 国際化の推進

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策46 国民健康保険の適正な運営

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策47 国民年金の普及

[7. 施策指標]

ア

野宗委員 : 窓口相談件数の数値が被保険者数よりも大きいのはなぜか。

荒木部会長 : 1階窓口で受け付けた回数であり、1人=1件ではない。

野宗委員 : 窓口と書いてあるが、備考欄には電話や文書も含まれている。備考欄がわかりにくい。

[部会の意見]

件数は窓口相談だけではなく、電話・文書相談も含まれるため、施策指標名を「相談件数」に変更する。

イ

花輪会長 : 加入率は総人口に対してのものなのか。加入すべき人の加入率が重要ではないか。

事務局 : 加入している人数を総人口で割った数である。

花輪会長 : 国民年金と共済に入っている人数を把握できるとよい。この数字では現状や方向性が見えてこないのではないか。

[部会の意見]

施策の現状や方向性の検証のために、分母を国民年金加入対象者数にする。

施策50 コミュニティづくりの推進

[部会の意見]

意見なしで可決。

施策66 協働型社会の構築

[部会の意見]

意見なしで可決。

3 その他

次回開催の日程

開催日：平成27年5月28日（木） 午後2時00分より

開催場所：和光市役所4階研修室

4. 閉会